



特殊詐欺の被害防止

被害額
19億円超!

《県内で増加している手口》

【キャッシュカードを直接だまし取るオレオレ詐欺】

この手口は、実在するデパートや百貨店の従業員を装う犯人が電話で「あなたのクレジットカードを使って買い物しようとしている人がいる。」と連絡してきて、被害者が「身に覚えがない。」と伝えると「あなたの個人情報が漏れていてクレジットカードが偽造されている。」「あなたの口座が危ないのでキャッシュカードを取り変えた方がよい。」などと話し「手続きに必要」などといった暗証番号を聞きだした後に、警察官や銀行協会職員などを装う犯人が直接キャッシュカードを受け取りに来て、預金を引き出されてしまうものです。

面識のない人には絶対に暗証番号を伝えたり、キャッシュカードを渡さないでください。



【還付金等詐欺】

還付金等詐欺は、役所の職員をかたり「医療費・保険料の還付金があります。」「今日が期限です。」「急いでATMに行ってください。」等と、還付手続きを装って、口座間送金により犯人の口座にお金を送らせるものです。

役所等が医療費等の還付手続きとして、ATMを操作させることは絶対にありません。

性犯罪被害の防止

性犯罪は、被害者を心身ともに深く傷つけ、たとえ身体の傷が癒えても被害者だけでなく、周りの家族等をも長きにわたって苦しめ続ける許しがたい犯罪です。



- 帰宅するとき ……深夜の帰宅は、家族に迎えに来てもらう、タクシーを利用するなどして、一人歩きは避けましょう。
- 自宅に入るとき ……周囲に人がいないことを確認してから玄関を開けましょう。
- 自宅にいるとき ……来訪者には、ドアチェーンを掛けたまま対応し、相手を確認した後にドアを開けましょう。

不法就労・不法滞在防止

日本に不法入国したり、在留期間を超えて日本に滞在したりする外国人のほとんどは不法に就労し、一部には犯罪に手を染める者もあり、日本の治安に大きな影響を及ぼします。

こうした不法滞在や不法就労防止のためには、県民の皆様のご理解と協力が必要です。不法滞在、不法就労、薬物・銃器の密輸、外国人による売春、窃盗等の犯罪を見たり聞いたりしたときは、最寄の警察署や交番に届けるか、110番で通報してください。



事件発生状況(4月)

	4月中	1~4月	前年比
乗物盗	1	13	-2
置き引き	2	9	-6

交通事故発生状況(4月)

	4月中	1~4月	前年比
件数	5	12	14
負傷者	6	14	16

梅雨の時期なので体調管理に気を付けて。こまめな水分補給が重要です。

パチンコ店やネットカフェ店内において、遊戯や仮眠中に台の上に置いた財布が盗まれるという事件が多発しています。貴重品は体から離さないようにしましょう。



地域ぐるみの暴走族追放

《6月は暴走族追放強化期間》

例年、夏場に向かって、暴走族の活動も活発化することから、警察では、6月を暴走族追放強化期間として、暴走族に対する取締りを強化しています。

暴走族を追放するには、地域の皆さんの協力が必要です。そのため、地域ぐるみで暴走族追放気運の醸成を図り、暴走族のいないまちをつくりましょう。

